

新京成×東武 地元再発見

開拓地名スタンプ & クイズラリー

実施期間
2014年
4月18日(金)
6月1日(日)

明治開拓の順番が名前として残る駅を訪ねて



明治の開拓と地名の由来

かつて下総台地北部一帯は、野馬の暮らす荒涼たる原野が広がっていました。江戸時代になると、徳川幕府のもと、放牧場として管理されますが、幕府終結とともに、「牧」も廃止されます。

明治2(1869)年、新政府は下総牧の開拓を計画し、東京府に開墾役所(のちの開墾局)を置き、府下の豪商を奨励して開拓会社を設立させました。そして、職を失った下級武士や小商人、小農の次三男たちを開拓移民として集め入植させました。自作農を夢見てこの地に入植した人々は、明治4年の段階で6千人を超えたといわれています。

さて、入植地は以前は幕府直轄の牧であったため字名がありませんでした。開墾局知事北島秀朝は開拓民が初めて入植した地を初富(はつとみ)と命名し、以下入植順に次のような十三の地名を付けました。

①初富(はつとみ)、②二和(ふたわ)、③三咲(みさき)、④豊四季(とよしき)、⑤五香(ごこう)、⑥六実(むつみ)、⑦七栄(ななえ)、⑧八街(やちまた)、⑨九美上(くみあげ)、⑩十倉(とくら)、⑪十倉一(とよいち)、⑫十倉二(とよふた)、⑬十倉三(とよみ)

しかし、開拓は困難を極め、入植者は激減。さらに天候不順による連年の凶作もあって、下総台地開拓事業は失敗に終わり、明治5年に開拓会社は解散になります。

解散後、開拓地の管理者は東京府から当時の印旛郡に移行し、前述の十二村(五香と六実)は合併が誕生します。残った入植者には会社側から5反5畝の土地を与えられ、自作農となりました。

元々、農業に向かない土地でしたが、わずかに残った初期入植者と新たな入植者の筆舌に尽くしがたい努力が報われ、やがて原野は野菜や梨の名産地へと変貌していきます。



諏訪神社 (流山市)



4番目に開拓が着手されたのがこの「豊四季」です。四季を通して豊かな実りをとの願いから、その地名が付けられたと伝えられています。

この駅から徒歩5分の場所にあり、地域の人たちが「おすわさま」と呼び親しんでいるのが「諏訪神社」で、平安時代末期の武将・源義家(八幡太郎)と深い関わりを持っています。

義家が「後三年の役」で奥州追討に向かう際この地に立ち寄り、諏訪神社に武運を祈つて

征途につきました。戦勝後の帰路、再び諏訪神社に詣で、人々のねぎらいとともに、乗馬及び馬具を献じたと伝えられています。境内にはその時の様子を偲ばせる義家の銅像があります。

諏訪神社南東には「鞍掛」という地名が今も残っていますが、これは義家が献馬の際に鞍を掛けた松があったことが由来のようです。



五香稲荷神社 (松戸市)

「五香」の由来は5番目に開拓されたこと、香り高く豊かな土地になるように、という願いを込めたことから付けられました。現在では、常盤平団地や牧の原団地への最寄り駅として多くの乗降客で賑わっています。駅の近くを立体交差する県道281号線は、かつて銚子沖や九十九里周辺で水揚げされた魚介類を高瀬舟に乗せ、利根川を経由して江戸日本橋に運んだ「鮮魚(なま街道)」です。

駅からこの道を15分ほど歩くと、「五香稲荷神社」があります。小さな社ですが、真っ赤なほり旗がすらりと並んでいるので、探すにはたやすいです。



しょう。境内の一角には、大切に保存されている老木の幹があります。この木は開拓の折り、記念樹として植樹されたものの一部ですが、百数十年の歴史の流れを再確認させてくれる貴重な資料の一つです。



宝泉院 (鎌ヶ谷市)



「六実」という地名も「六番目に開かれたこと」と「実を結ぶ」という縁起の良い字を合わせて付けられました。

そしてここは幕末に結成された赤報隊隊士・渋谷総司誕生の地。赤報隊とはもとは草莽隊でしたが、後に王政復古で官軍となった薩摩・長州両藩を中心にした新政府の東山道鎮撫総督指揮下の一部隊になりました。ところが新政府の最初の方針である年貢半減を触れ回ったことがその実行が難しいと判断した新政府の中で問題となり、偽官軍の汚名を着せられ、渋谷らは処刑されてしまいました。歳月を経て復権運動が行

われ、1928年(昭和3年)、渋谷総司には従五位が追贈されるなど彼らの名譽は回復されました。

駅から徒歩5分ほどの場所にある宝泉院には、そんな時代に翻弄された渋谷総司の石碑が建っています。そしてさらに5分程歩いたところにある渋谷自治会館の一室には、渋谷総司資料室として、総司ゆかりの貴重な資料が展示されています(毎週火・土曜日の10時~15時のみ公開)。

クイズ ②

義家の献馬の様子を表した銅像のタイトルは「○○献馬」



クイズ ③

五香稲荷神社にある開墾記念樹の高さは

③ 約3m
② 約2m
① 約1m



スタンプを集めてクイズに答えてご当地グルメを!

A賞 ご当地グルメ 10名様

- 鎌ヶ谷市 茂野製麺 [手折りめん詰合せ] 2名様
- 船橋市 佐久間あいすくりーむ工房 [ジェラート5個セット] 2名様
- 柏市 やまと米菓 2名様 [3種類風味の詰め合わせ 28枚入]
- 流山市 藤屋 2名様 [藤屋特選和菓子セット]
- 松戸市 富井 2名様 [戸定三楽(花) 12個入]

B賞 新京成賞:オリジナルグッズセット5名様
東武賞:東武百貨店船橋店厳選品5名様

C賞 新京成・東武 オリジナルクリアファイルセット100名様

1030006

お手数ですが必ず52円切手をお貼りください

東京都中央区日本橋富沢町4-10
京成日本橋富沢町ビル(株)京成エージェンシー

新京成×東武
開拓地名スタンプ&クイズラリー 係行

〒		都	
市		区	
最寄り駅		線	
お名前		フリガナ	年齢
電話番号		() -	ご職業
		性別	男 女

応募締切: 2014年6月2日(月) 必着 ※当日消印有効

●当選発表
応募締め切り後、厳正なる抽選のうえ当選者を決定し、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
■ご注意
※賞品内容が変更になる場合もございます。※応募物の受付・受理の確認、返却はできません。※ご記入いただいた個人情報は、抽選、当選者様への賞品の発送、本件に関する諸連絡のみに利用させていただきます。※お客様の個人情報をお客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)。



主催 / 新京成電鉄株式会社・東武鉄道株式会社
後援 / 船橋市・鎌ヶ谷市・松戸市・柏市・流山市
松戸市観光協会・流山市観光協会

INFORMATION

2014年4月1日(火)より東武野田線を
路線愛称名「東武アーバンパークライン」といたしました。

東京近郊のベッドタウンを走行する路線としての都市間輸送、都心に向かう通勤・通学路線との乗り換え駅を複数有する交通利便性の高い路線であり、一方で身近に自然を感じられる公園などが多く点在し、憩いのある住みやすい路線でもあることから、「アーバン=都市」と「パーク=公園」を組み合わせた造語で表現した路線愛称名です。



スタンプを集める

スタンプ設置駅は新京成線[初富]駅・[二和向台]駅・[三咲]駅・[五香]駅と東武アーバンパークライン[豊四季]駅・[六実]駅です。下記応募ハガキにスタンプを押してください。

クイズに答える

本紙掲載の3つのクイズの答えを下記応募ハガキにご記入ください。(無回答可)

ハガキで応募

必要事項をご記入の上、下記の応募ハガキを切り離してご郵送ください。(52円切手をお貼りください)。応募締め切りは2014年6月2日(月)消印有効です。

集めたスタンプ数とクイズの正解数によって賞品が変わります。
【A賞】▶スタンプを6個集め、クイズに3問正解
【B賞】▶スタンプを6個集める
【C賞】▶スタンプを新京成線1個・東武アーバンパークライン1個集める

当選発表

応募締め切り後、厳正なる抽選のうえ当選者を決定し、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

- 賞品
- 【A賞】船橋、鎌ヶ谷、松戸、柏、流山5市ご当地グルメ 10名様
 - 【B賞】新京成賞:オリジナルグッズセット 5名様
東武賞:東武百貨店船橋店厳選品 5名様
 - 【C賞】新京成・東武 オリジナルクリアファイルセット 100名様

新京成×東武
開拓地名スタンプ&クイズラリー
応募ハガキ

■スタンプ

新京成線 初富駅	新京成線 二和向台駅	新京成線 三咲駅
東武アーバンパークライン 豊四季駅	新京成線 五香駅	東武アーバンパークライン 六実駅

■クイズの答え

初富駅 クイズ①	豊四季駅 クイズ②	五香駅 クイズ③
----------	-----------	----------



クイズ ①

貝柄山公園にある
馬の親子の像は全部で○体



貝柄山公園



馬の親子の像

公園の北側には隣接して、江戸時代に野馬を集めて捕獲選別する野馬捕りを行った下総小金中野牧跡(捕込)とこの「跡」の遺構も残っています。こちらは国の史跡に指定されています。

駅から10分ほど歩くと、さまざまな樹木と大小の池で構成された「貝柄山公園」があります。隣接する場所に縄文時代後期の「中沢貝塚」があり、それが名前の由来と言われています。

周辺の立ち寄りスポット
●初富稲荷神社(初富の総鎮守)
●鎌ヶ谷市郷土資料館



貝柄山公園 鎌ヶ谷市
下総小金中野牧跡(鎌ヶ谷市)



星影神社(船橋市)



道中の風景



二和開墾百年記念碑

2番目の開拓地が二和。二和では1869年(明治2年)より3陣に分かれて入植が行なわれ、159世帯・548人が移住しましたが、開拓に適さない土地柄や様々な悪条件が重なり、入植者も減り、開拓会社は解散に追い込まれました。その開拓会社役員で二和担当だった星野清左衛門は開拓予定地の過半を取得して小作地として貸し出し、近隣農村の次・三男が借り受けて農地を広げ、わずかに残った入植者と、周辺農村から移住した人々によって畑作地帯を築き上げました。

二和向台駅から住宅街や畑、それに梨園などの風景を楽しみながら20分ほど歩くと「星影神社」があります。この口マンチックな社名は、開拓



星影神社



三咲稲荷神社(船橋市)



道中の梨園



三咲稲荷神社

「三番目に咲く」と書く、文字通り三番目に開拓された地域です。ここにも星影神社と同じく、開拓を機に創建された「三咲稲荷神社」があります。境内には、「当村社は明治2年開墾創業し五穀成就村落繁栄守護の神」としてこの地に鎮祭した」と記された「三咲開墾百年記念碑」があります。

三咲駅前を南北に走る県道を北に向かえば、およそ20分まで参道入口に到着します。途中には畑や梨園などがあるのですが、風景を楽しみながらの散策が味わえます。境内には拜殿と本殿のほか石狐や子安堂、御神木、新四国八十八ヶ所吉備橋大師講中などがあります。

境内では毎年夏になると昔ながらの盆踊り大会が開催されます。地元のお店や住民が中心になって行われるもので、地域のつながり核になる、大切な役割も担っています。

- 周辺の立ち寄りスポット
- ふなばしアンデルセン公園
 - 千葉県立船橋東民の森(森林浴)